

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0990600132		
法人名	社会福祉法人 熊晴会		
事業所名	グループホーム あさひ塩野室		
所在地	栃木県日光市塩野室町1504-26		
自己評価作成日	平成30年11月30日	評価結果市町村受理日	平成31年2月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/09/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/09/index.php</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成30年12月12日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者一人一人が笑顔で安心して日々の生活が送れるよう、個性に合わせた支援を心掛けています。  
ご自分のペースで過ごして頂く中で、ボランティアとの交流や、季節を感じられるような設えや食事を取り入れ、楽しめるような取り組みを行っています。  
ご家族が気軽に疑問を相談事を話せるよう、丁寧に関わりを持つよう心掛けています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、市南東部の宇都宮市との境界に近い集落にあり、周囲には田園が広がり日光連山が眺められるなど自然豊かな環境にある。平成29年10月に隣接する特別養護老人ホームとともに運営母体が変わり、事業所名が変更となった。職員は暖かく家庭的な雰囲気を大切に環境づくりとともに絶えず利用者とのコミュニケーションを図りながら笑顔と想いを引き出し、一人ひとりに寄り添った支援に努めている。利用者の残存能力や希望に合わせ、食器拭きや料理の味見など「出来る力」を引き出す工夫をしている。リビングは明るく、毎日利用者職員と一緒に掃除をするなど清潔感を保っている。壁には利用者と一緒に作った季節感が感じられる貼り絵や折り紙などを飾り、ゆっくりと居心地良く暮らせるよう支援している。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関に掲示し、いつでも確認できるようにしている。信頼関係の構築に努め、対話から本音を引き出しそれぞれの思いを受け止め、職員間で共有し入居者の思いに寄り添いながら答えるよう努めている。	理念をいつでも確認できるよう玄関に掲示している。職員は一人ひとりに寄り添いながら丁寧に思いを引き出すよう努めている。	新しい職員も多いことから、全職員で改めて理念を再確認するとともに、振り返る機会を作りながら日々の実践の中でより具現化するような取り組みを期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域にある児童館の運動会やハロウィンイベントに参加させて頂いたり、同一法人施設に来て頂きクリスマスイベントをしたりと、交流を図っている。また、地域のボランティアの定期的な受け入れを行っている。	近隣にある児童館の行事に参加したり、隣接の同法人特別養護老人ホームを会場に開催するクリスマス会に地域の方を招待したりと交流を図っている。傾聴ボランティアや音楽ボランティアが定期的に訪れ、利用者の楽しみになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実践している事が無い為、課題としたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日常の様子やイベント等の予定、外部評価の報告等を行い、それをもとに地域の方や家族から意見を頂いている。事情により定期的な開催や参加が出来なかったが、実施への取り組みで改善されつつある。	家族、地域包括支援センター、市職員の参加を得て、日々の暮らしぶりやヒヤリハットの報告の他、事業所の課題等について話し合い意見をもらっている。	自治会役員や民生委員、市社会福祉協議会職員などの参加を働きかけ、地域との連携や交流が深められるような取り組みを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	疑問や報告事項等がある時は、すぐに市町村に連絡をして確認をするようにしている。	運営推進会議に出席してもらい、事業所の運営状況を報告している。わからないことがあれば、市担当者を確認をし、助言をもらいながら協力関係を築くよう心がけている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	GH内で年2回、身体拘束に関するアンケートを実施し、結果を集計して課題に対しては解決に向けて話し合いを行っている。	身体拘束に関する内部研修を実施するとともに、運営推進会議にも諮り出席者からの意見をもらっている。毎年2回、職員に対するアンケートを実施し、集計結果について話し合うなど振り返りを行っている。見守りや目配り気配りを行い、安全面に配慮しつつ、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関するアンケートを実施し、結果を集計して課題に対しては解決に向けて話し合いを行っている。日常でもスタッフ同士で注意を払い、痣や傷のなどに関しては、事故報告書を作成して原因究明や改善策等を検討し虐待防止に努めている。		

グループホームあさひ塩野室

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修等を活用し学習する機会を持ちたいが、今のところ出来てない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者や家族の立場に立ち、不安や疑問点を含めて丁寧に説明を行い、納得された上で契約を行っている。改定等がある場合も、同様に説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者との日常会話の中で意見や要望等が出た場合は、出来るだけ実現するよう努めている。また、気軽に意見や要望が言えるような信頼関係を築くよう努めている。家族も意見や要望等が言えるよう、面会時や家族会開催等で話す機会を作るよう努めている。	利用者からは日々のケアの中で丁寧に意見や要望を聞くよう心掛けている。家族からは面会時や家族会の集まりなどにおいて意見や要望が出されている。	家族に対しては、職員紹介や食事の内容、行事の様子など、事業所の取り組みを積極的に伝え、より意見の出やすい環境づくりの工夫を期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員間のコミュニケーションを大切にし、意見や提案がある時はその都度やカンファレンスで話し合っている。	ケアに関することはその都度話し合うとともに、提案等については毎月のカンファレンスで話し合い反映させるよう努めている。理事長とホーム長、職員の3人で話し合うこともある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は、職員の仕事への取り組み方や勤務状況等を代表者へ報告することで状況を共有し、職員それぞれの個性や得意分野、専門知識などを現場での勤務で活かすことで、やりがいや向上心が高まるよう努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員とのコミュニケーションなどから、一人ひとりのケアの実際と力量の把握に努めている。研修の情報が入り次第告知し、職員から研修参加の希望が出た場合は勤務の調整などを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協会に入会し、研修などへ参加している。必要時には同一法人のGHと連絡を取り合い、報告・相談を行っている。		

グループホームあさひ塩野室

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人との面談を通して不安なことや要望を出来るだけ聞き出せるよう、環境や話し方に配慮するなどを心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	玄関にご意見箱を設置している他、家族からの不安事や困り事、要望は聞くようになっている。相談受付や調査の際は、家族と面談を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の希望や意向を踏まえ、GHでのサービス内容を説明している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の気分や状態を考慮しつつ、一緒に清掃や買い物をしたり、食事に関わる調理や盛り付け、食器拭き等をしている。共に生活をして、支え合う関係を築くよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在の家族との関わりは、主に電話連絡や面会時、家族会開催時となっており、その際に本人の様子を報告したり、本人・家族の思いを伺いつつ一緒に支えられるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の面会も広く受け入れ、気軽に面会に来て頂けるよう対応し、馴染みの人との関係の継続に努めている。入居者によっては、家族と一緒に外出し馴染みの人や場所との関係を継続している	友人、知人が面会に来た際にはお茶を出すなどして居室でゆっくりと話が出来よう配慮している。帰宅や馴染みの店での外食、買い物は家族に働きかけ支援している。親族から手紙が届くこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の相性を考慮し、座席を工夫している。職員が関わることで、孤立しないよう努めている。また、レクリエーション等は、皆が参加して楽しめるような内容を提案するよう努めている。		

グループホームあさひ塩野室

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	実践出来てない為、課題としたい。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、ご本人やご家族の希望・意向に耳を傾けている。状態により困難な場合は、ご本人に寄り添い表情や仕草等から汲み取るよう努めている。	日々のケアの中で出来る限りコミュニケーションをとるよう心がけ、1対1の会話の中で出た言葉を大切にしている。引継時や連絡ノートを活用して共有を図っている。困難な場合は、生活歴も参考にしながら表情や仕草からくみ取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や生活環境等は、事前調査の情報や普段からコミュニケーションを取ることで、把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	暮らし方や生活のリズム、その時々的心身状態を把握し、それらを踏まえた上で出来る事・出来ない事を見極めている。変化があれば、カンファレンス等で話し合い職員間での情報共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスで、より良く暮らす為の課題、ケアの在り方等を話し合い、内容を全職員で共有している。	毎月モニタリングとアセスメントを実施するとともに、ケアマネジャーを中心としたカンファレンスの中で職員、家族の意見を取り入れ作成している。状態が変わった場合は、主治医の意見により随時見直すなど現状に即した介護計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々過ごしている中での行動や発した言葉や会話、気づき等を個人記録として残している。また、引き継ぎ時の申し送りや連絡ノートで、情報共有し共通理解を図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者の状態変化等様々な状況により生まれたニーズに対しては、ご本人やご家族と話し可能な限り柔軟に対応するよう努めている。また、買い物や外出も、事前計画の有無に関わらず状況に応じて行っている。		

グループホームあさひ塩野室

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在、地域の児童館の催しに参加させて頂いている他は、地域との直接的な関わりが持っていない。交流が持てるよう体制を整えたい。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月協力医の往診があり、状態の報告を行っている。何かあれば協力医の指示を仰ぎ、状況に応じて協力医やかかりつけ医の受診を行っている。疾患や特変等は、ご家族へ確実・正確に伝達するよう努めている。	毎月の回診がある協力医を主治医とする方が多い。協力医以外の受診は家族対応としている。受診前に家族に状態を説明するとともに結果についても聞き取りをしている。日頃から健康状態について家族へ伝えるほか、必要に応じ連絡を取り合い、家族、主治医と情報共有を図っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常で気付いた入居者の変化や、薬剤・処置等に関しては、必要に応じて看護師に相談して適切に受診や看護を受けられるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、サマリーを提出している。入院中は面会に行ったり、病院での状況報告が行われる際にはご家族の了承を得て一緒に参加させて頂いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在看取り介護は行っていないが、定期的に看取り介護勉強会を行い、職員間で知識を深めている。	看取りについてのマニュアルを整備し、内部の勉強会で知識を深めている。入居時には家族に重度化や終末期の対応について説明している。状態に変化があれば、その都度、家族等に意向を確認し対応している。現時点では特別養護老人ホームへの移行などが多い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や事故発生時の対応方法はあるが、定期的に確認したり、講習に参加する等して知識を深められるよう努めたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	前職員が重要性を認識し、災害時に適切な対応が出来るよう定期的に訓練を行っている。	運営主体が変わり、新たな体制になったことなどから定期的な訓練ができていない状況にある。	消防署の指導のもとに年2回以上の通報・避難訓練を着実に実施するとともに、地域住民の協力が得られるような働きかけを期待したい。

グループホームあさひ塩野室

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、職員本位の声掛けにならないよう注意したい。プライバシーを損ねないよう、排泄の確認を職員同士で伝達する際、他入居者に分からないよう工夫するよう心掛けている。	トイレ誘導は他人に聞こえないよう小声で誘導するとともに、職員間の排泄確認は暗号を使うなどして羞恥心に配慮している。声掛けは相手の顔を見て行い、誘導的にならず自己決定が出来るような言葉づかいを心掛けている。居室への入室時には必ずノックをし、ドアやカーテンを閉めるよう徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段から信頼関係の構築に努め、会話の中から思いや希望を聞き出せるよう努めている。提案をする際も、ご本人の意向を確認しながら話を進めていくよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日中は、リビングで塗り絵やパズルをしている方、新聞や雑誌・本を読んでいる方、テレビを観ていたり居室で昼寝をしている方等があり、ご入居者のペースで過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時や起床・就寝時の着替えの際に、好みの服が着られるよう選んで頂いている。散髪は、希望の有無により行い、分からない方は定期的に行っている。ご家族と馴染みの美容室に行かれる方もいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を取り入れながら、職員が献立を作成し入居者と買い物に行っている。また、食材を切ったり混ぜたり、盛り付けをしてもらっている。食事後は、食器拭きをしてもらっている。	毎食職員による手作りの食事を提供している。食材は地元のスーパーなどへ利用者とともに買い出しに行っている。利用者に合わせ食べやすいサイズにカットするなどの配慮をしている。職員も介助をしながら一緒に楽しく食事をしている。利用者も台所で味見をしたり下膳や食器拭きをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの好みを把握し、バランスを考慮しつつご本人に合った量を提供するよう努めている。水分摂取量も常にチェックし、進まなかったり足りてない方には、声をかけたり飲みたい物を聞いて提供するなど工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声をかけ口腔ケアをしてもらっている。自分で行えない方は、介助している。義歯には週3回洗浄剤を使用し、清潔の保持を心がけている。また、必要時にはご家族に歯科受診の依頼を行っている。		

グループホームあさひ塩野室

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンの把握に努め、必要な方には声をかけ誘導している。その際は、汚物をトートバッグに入れ破棄する等プライバシーに配慮すると共に、必要に応じてリハビリパンツやパッドを使用する等自立に向けた支援を行っている。	ほぼ全員がトイレで排泄しており、利用者によっては定時や食後に声掛け誘導している。夜間も自立、声掛け誘導、パッド交換など利用者に合わせた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日体操を行ったり、食事で乳製品・果物・野菜を提供している。便秘の方には水分を多めに勧めたり、必要に応じて下剤を服用してもらっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回入浴できるよう支援している。入浴中は、リラックスできるよう音楽を流したり、入浴剤を使用している。また、衣類の着脱、洗髪・洗身等はご本人のペースに合わせるよう努めている。	基本的には週2回入浴支援をしている。同性介助を基本として、音楽を流したり入浴剤を使用するなどゆっくりと楽しめるよう配慮している。拒否者には声掛けを工夫したり曜日を変えるなどしている。脱衣所、浴室もエアコンやヒーターを使い温度の管理をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や状況を考慮しつつ、必要な方へは就寝への声かけを行っている。居室内の照明や温度に配慮し、エアコンや包布等で調整したり、冬場は乾燥を防ぐべく加湿器を活用している。起床時や日中は、包布類をたたんで置く等環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬介助前後は職員同士でダブルチェックを行い、入居者の口内に入り飲み込むまで見守ることで、ミスなく確実に服用してもらえるよう努めている。症状の変化や内服薬の変更があった場合は、連絡や記録等で情報共有するよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活にメリハリをつけるべく、洗濯物たたみや掃除等を一緒に行ったり、体操やレクリエーションの中で、一人ひとりの力を活かして楽しんだり、気分転換できるよう努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	主に、ボランティアや地域の催し物や買い物時に外出している。外出の機会をほとんど作れてないが、日々の会話等で出た外出先や外食の希望を、可能な限り実現できるよう体制を整えたい。	食材の買い出しや隣接する特別養護老人ホームの催しに参加するため外出している。個別の希望や全員での外出は検討中である。	

グループホームあさひ塩野室

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金は、主に外出先での食事やご本人の日用品等の購入に使用している。ご本人がお金を持つ事の大切さを理解しており、状況に応じて支払いができるように支援に努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在、手紙や電話の使用を希望されている入居者はいないが、希望に応じて対応可能である。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	所々に木材を使用した落ち着いた色彩で、陽の入り具合や空調等にも配慮している。リビングにはその時々で飾り付けをして、季節を感じたり楽しめるような雰囲気作りに努めている。	リビングは日当たりもよく、明るく清潔である。温湿度もカーテンや加湿器を使い適切に管理している。壁には利用者とともに作った貼り絵などを飾り、季節感が感じられるよう配慮している。テレビの位置や座席の配置にも気配りし、一人ひとりが心地よく過ごせる環境作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	現入居者は、日中のほとんどの時間をリビングの自席で過ごされている。入居者同士の相性や性格等を考慮し、自席の配置を工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の馴染みの家具や家電品を持ち込んで頂いている。自身の作品やご家族との写真等を飾っている入居者もあり、居心地良く過ごせるよう工夫している。	ベッド、加湿器、エアコン、洗面台などが備え付けられている。利用者は家族の写真やタンス、テレビなどを自由に持ち込んでいます。壁には写真やカレンダー、創作物などを飾り、居心地良く過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室に表札を付けたり、カーテンの色を変え認識し易いよう工夫している。トイレ付近の壁にも、それだと分かるよう表示をしている。また、トイレやリビング周りの洗面台近くの手が届く所にペーパータオルを置き、自立して行動できるよう工夫している。		